

高崎市第5次総合計画（平成20年度～平成29年度）

将来都市像：「交流と創造～輝く高崎」

まちづくりの理念

人・もの・情報などの「交流」と、新たな芸術・文化や科学技術などの「創造」の促進により、経済を活性化させ、持続的に発展させていく「交流と創造のまちづくり」を積極的に展開

将来のまちの姿

群馬県のみならず北関東・信越地域を代表する拠点都市として東京と日本海を結ぶ政令指定都市を目指す。

まちづくりの基本戦略

高崎駅を中心としたまちづくり...高崎駅周辺にさらなる都市機能の集積を図り、多くの人々が集まり新しい都市文化や経済活動を生み出す、**にぎわいと躍動感あふれるまちづくりを推進**

文化の薫る品格のあるまちづくり...「音楽のある街」など市の特性を再認識し、様々な主体による芸術文化活動の育成支援等により、**高崎ならではの魅力と品格のある都市文化を創造**

たくましい産業を育むまちづくり...交通拠点性や災害の少なさなどの**優位性を活かした産業誘致**や、産・官・学連携により、環境・医療・情報等の分野における新産業の創出を積極的に支援

高崎地域（都市拠点ゾーン）の施策展開

都市拠点の形成とコンパクトシティの推進

- ・高崎駅周辺の市街地再開発事業等の都市基盤整備の推進
 - ・拠点都市にふさわしい街並み整備と都市機能の集積
 - ・スマートＩＣを核とした新たな拠点地区の形成
 - ・コンパクトなまちづくりの推進
- 「創造の場」の整備
- ・多様な芸術文化活動に対応できる芸術・コンサートホール整備
 - ・高崎操車場跡地周辺は、新産業創出や企業誘致可能なビジネスパーク整備
 - ・高崎競馬場跡地については、県との連携により、群馬県の発展を牽引するような効果的な利活用推進

高崎市都市計画マスタープラン（素案）

将来都市像：高崎から世界へ 魅力と存在感のある「交流創造都市」

高崎地域（旧高崎市）のまちづくりの方針

地域の課題

- ・中心市街地は、マンション建設に伴い人口空洞化に歯止めがかかったが、高齢化率は一貫して上昇傾向にあるため、引き続きまちなか居住の推進と商業・業務機能の強化により、一層の賑わいと歩いて暮らせる利便性の高い中心市街地の実現が課題
- ・新幹線などの広域公共交通網の拠点性を活かし、広域的な交流拠点を実現する国際的交流機能の充実が必要
- ・産業集積を図るための用地が不足。一方、スマートＩＣの整備により、新たな開発ポテンシャルの高まりが想定 等

まちづくりの方針

- ・高崎駅を中心とした中心市街地は、政治、経済、教育、文化等の都市機能の集積を図り、一層の賑わいと魅力ある都市空間の形成と都心居住を促進 等
- ・まちづくりの目標は、「**存在感のある交流発信拠点の形成**」

地区別構想：高崎地域都心地区

拠点の形成

- ・高崎駅西口周辺は商業機能の強化を、高崎駅東口周辺はコンベンション機能、オフィス機能、オフィスサービス機能等を整備

地区別構想：高崎地域東部地区

土地利用の方針

（複合市街地）

- ・稲荷町や・**岩押町**・は、住宅や事務所等の土地利用の調和を図る。
- ・高崎競馬場跡地は、**県との連携により、双方の発展に資する効果的な利活用を検討**

（中心商業地）

- ・高崎駅東口周辺を交流拠点の商業・業務地に位置づけ、市街地再開発事業等による土地利用の高度化、会議場・ホテル等国際的交流機能の充実、それらにふさわしい商業・業務地の形成を図る。

高崎地域将来都市構造図

高崎市都市計画マスタープラン(素案)より転写

< 都心地区 >



< 東部地区 >

